

冬期における豊富バイパスの効果について

5. 農産品の輸送を確保

生乳の出荷では、いつも使っている町道の通行止めになると廃棄しなければならない状況にまでなります。しかし、平成17年2月22日町道が通行止めになったときには、豊富バイパスを利用することで全量を出荷することができました。

また、当日は豊富地域家畜市場で肉牛の取引市場が開催されましたが、悪天候下にもかかわらず、JA稚内とJA沼川では豊富バイパス経由により全頭を出荷することができました。



2月22日午前(0:00~12:00)の通行止め状況と(株)豊富牛乳公社への生乳出荷状況

JA豊富町のコメント
「昨年2月の通行止め時には、乳業工場への出荷が全くできず、生乳を各生産者のタンクに保管することでかろうじて廃棄を免れました。今年2月の通行止め時には、**豊富バイパス利用により、(株)豊富牛乳公社へ全量出荷することができました。**」



2月22日午前(0:00~12:00)の通行止め状況と稚内市からの生体牛出荷状況

JA沼川のコメント
「曙地区から豊富地域家畜市場への生体牛出荷にはいつも豊富バイパスを使っています。今年2月の国道40号通行止め時には、**豊富バイパスが通行可能であるという情報を朝のうちに入手できたので安心しました。**」